

海外安全対策情報(令和3年4月～6月)

パプアニューギニア

1. 社会・治安情勢

- (1) パプアニューギニア（以下PNG）では失業者や生活困窮者が多く、これら困窮者や失業した若者グループによる金品強奪を目的とした犯罪が頻発している。2020年（最新）のPNG警察犯罪統計によると、犯罪件数は全国的に上昇している。PNGでは多くの場合、強盗（一般に「ラスカル」と呼ばれる）に蛮刀、ナイフ、銃や手製銃等を使用するため、万が一、強盗等に遭遇したり、事件に巻き込まれたりした場合には、身を守るため、金品などの所持品を奪われても抵抗や反撃をすべきではない。また、武装したラスカルによるカージャック被害が昼夜、場所を問わず多発しているため注意が必要である。また、婦女暴行目的の誘拐や暴行後に殺害されるケースも多く、社会に深刻な不安を与えている。PNG国家警察の統計上の件数だけでも、2020年は国内で1,103件の婦女暴行事件が起きており、その内、274件がポートモレスビー市内で発生している。
- (2) ハイランド地方では、部族間闘争が定期的に発生しており、首都圏における部族間の争いの原因にもなっている。現在までに外国人を巻き込んだ事件は確認されていないものの多数の死者が発生しており、収束の見通しは立っていないことから引き続き同地域へ渡航する際は注意を要する。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 当地UNDSS（国連安全警備局）、民間警備会社等から入手した情報（2021年4月～6月）によれば、首都ポートモレスビー市内で発生した総犯罪件数は239件であった。特に5月の犯罪件数は、106件を記録し、月ごとの犯罪件数過去3年間の統計で最高となった。NCD警察長官の話では、最近の治安について、コロナの影響で市民が衝突することが増えているとの回答があった。今後、コロナ対策による失業、ストレス等で突発的な犯罪、乱闘騒ぎが市内各地で多発する可能性があるため、引き続き注意する必要がある。

現地治安当局によれば傾向として最も多いのは性犯罪であり、次いでカージャック、強盗と凶悪犯罪が多数を占める。特に同市エリマ、ゲレフ地区等で強盗やカージャックが多発している。

また、ゲレフ、空港周辺のエリマ、海岸線沿いのコキ、コネドブ各地区周辺では部族間争に起因する乱闘が度々発生しており、主にハイランダーと呼ばれる山岳地出身者らが現地の部族間対立を首都圏に持ち込み事件を

起こしている。

4月～6月における事件種別ごとの件数は次のとおり。

強盗/盗難 99 件、カージャック 54 件、抗争等 34 件、迷惑行為 14 件、殺人 7 件、侵入強盗 7 件、銃刀法違反 6 件、傷害 2 件、脅迫 2 件、薬物所持 1 件、誘拐 1 件、その他 12 件

(2) 最近のポートモレスビー市内における注意を要する事案

ア 市内で頻発しているカージャック等の強盗は、特に朝夕のラッシュアワー時に集中しており、信号待ちの交差点や渋滞中の環状交差点において襲われるケースが多い。鍵のかけ忘れにより車内に侵入されることもあることから運転中、窓を閉めて施錠するとともに外出する時間帯や地域についても注意する。

イ 治安当局によれば、性犯罪はセトルメントと呼ばれる貧困地域を中心に家庭内暴力を含め多数発生し、ポートモレスビー市内だけでも年間約 300 件近くの事件報告がなされており、治安当局による統計では最も多い犯罪となっている。徒歩での移動や公共交通機関の利用は昼夜を問わず危険である。

(3) 邦人被害関連事案

ア 4月27日、東ニューブリテン州にて邦人が車で走行中、対向からPMVが高速でカーブに接近していたため、邦人が安全のため一時停車したところ、PMVはカーブを曲がりきれずに横転する事案が発生。幸い、邦人に怪我等はなく、PMVの乗員も軽傷であった。

イ 6月6日、当館館員が日曜礼拝のため、ワイガニ警察署前の通りを走っていると対向車線の車両が、路側帯で方向転換してそのまま館員の車両右側面に衝突する事故が発生。双方に怪我はなかったものの事故の相手車両運転手は、飲酒運転かつ無免許運転であった。

また、警察署移動後に取り調べが行われ、館員は、交通警察の担当官から再度事故現場を検証した上でボロコ地区にある交通警察署に移動すると指示された。その際、事故の相手運転手は酒酔い状態かつ無免許運転にもかかわらず、再度自車で移動を開始し、事故現場とは反対方向に向かった。交通警察との現場検証の後、交通警察署へ向かうと事故の相手はおらず、相手運転手を取り逃がしていたことが判明した。後日、交通警察長官に対し、事故当日の警察官の不始末に関し、抗議を申し入れ、犯人は11日に逮捕された。

3. 誘拐事件発生状況

2021年4月～6月には外国人を標的とした誘拐事件は報道されなかったが、PNG人の誘拐事件は1件発生しており、都市部への人口流入及び貧富差の拡大等の状況に鑑みれば、引き続き、誘拐事件に対しても十分な警戒が必要である。特にPNGでは、強姦や金銭目的の誘拐事件が多発しているため、単独行動や徒歩での移動を避ける等の十分な対策が必要である。

以上